

---

## **ふろたん年表 NO.3**

**(52) 2016年11月27日 第6回「ふろたんインタビュー」～  
(75) ふろたん通信36・37号**

---

## 「ミャンマーの手しごと雑貨の店」

ミャンマー祭り2016の「dacco.」のお店

ミャンマーの伝統技術の継承

11月の恒例行事になった「ミャンマー祭り」、会場の芝の増上寺の正門を入ったすぐ前のテントの店「dacco.」、客で賑わう店の前での突撃インタビューです。

店主の和田さんは、母から子へ伝えられてきた繊細な編み物技術など、ミャンマー各地の伝統的な工芸品づくりを支える職人さんの技を適正な報酬で広く流通させたいと、2010年にヤンゴンで手しごと雑貨の店「dacco.」を立ち上げました。ミャンマーの人たちが伝統技術と文化に誇りを持ち続け、日本とミャンマーとの親しい交流の場づくりを目指して取り組んでいます。



和田直子さん

# 「dacco.」ヤンゴン店





# 2016年11月27日 「ストーリーマップ」 —語りかける地図— 発行

日緬交流型スタディツアー  
に向かって、ふろんていあタ  
ウン工房が製作した御嶽山  
とビクトリア山が表裏一体と  
なって山を愛し大切にする人  
たちに語りかける地図が、  
「ミャンマー祭り2016」でデ  
ビューしました。

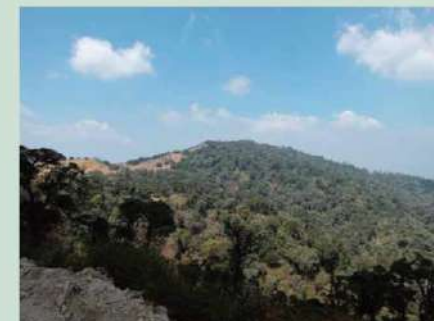
協力;木曾ユネスコ協会  
ミンガラパー・ユネスコクラブ



「日本人ほど山を崇び山に親しんだ国民は、世界に類がない。国をはじめて昔から山に縁があり…日本人の心の底にはいつも山があった」

— 「日本百名山」(深田久弥著)の「後記」より—

特定非営利活動法人  
編集・発行 ふろんていあタウン工房  
協力 木曾ユネスコ協会



世界の三大仏教遺跡に数えられるバガン、その西方のチン州の山岳地帯に聳えるビクトリア山。チン族の言葉で「母の山」を意味する山、豊かな自然の中にあるこの山一帯は国立公園に指定されています。

特定非営利活動法人  
編集・発行 ふろんていあタウン工房  
協力 ミンガラパー・ユネスコクラブ

# 「御嶽山とビクトリア山」

STORY MAP  
— A map that tells stories —

## Mt.Ontake and Mt.Victoria



"No other people in the world hold more reverence and affection to mountains than the Japanese. From the olden days, such sentiments have always been at the bottom of our soul." (From the afterword to the book "One Hundred Mountains of Japan" by Kyūya Fukada)

Nonprofit Organization  
Published **Frontier Town Atelier**  
Co-operator **Kiso UNESCO**  
Translation **Michiko & Tadashi MORITA**

STORY MAP  
— A map that tells stories —

## Mt.Ontake and Mt.Victoria



Mt. Victoria situates in the mountainous area west of Bagan, the city known for the stunning Buddhist ruins, in the Chin State of western Myanmar. The mountain is called Nat Ma Taung in Chin language, meaning 'Mother Mountain' and the surrounding area rich in nature is designated as a national park.

Nonprofit Organization  
Published **Frontier Town Atelier**  
Co-operator **Mingalaba UNESCO**  
Translation **Michiko & Tadashi MORITA**

日本とミャンマーとは、ビルマの時代からの長い歴史の中で、深い交わりがあった国です。

両国の「山と共に生きる地域づくり活動」に取り組む町や村が互いに協力し、親交を深め、「手を繋ぐ名山・山麓都市友好交流ネットワーク」を形成する…この「ストーリーマップ」は、そんな「夢」に向かうガイド役になりたいと思っています。

英訳版とセットで販売しています  
定価1,500円＋税



### ストーリー・マップ —— 山岳列島の物語

#### 何故山と日本の山 ontakeshan

日本人は山を敬愛し、山に親しみ、山に愛され、山に育ち、山に守られ、山に守られて生きています。山は日本人の生活の中心であり、日本人の魂の故郷です。

—— 『日本百名山』 徳田秋声 著

徳田秋声 著  
編集 藤村 正一  
監修 藤村 正一

### 「日本百名山」と御嶽山

1964年徳田秋声の『日本百名山』出版以降、山岳愛好者の間で「日本百名山」の概念が広まりました。この概念は、日本の山岳を代表する100の山を選定し、その魅力を伝えることに貢献しました。御嶽山は、この100の山のひとつとして選定されています。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

御嶽山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

### 「日本地図帳」は、それぞれに特徴がありますが、平凡社の「プレミアムアトラス日本地図帳」は異色を醸成と、いきなり日本の山を紹介から始まります。

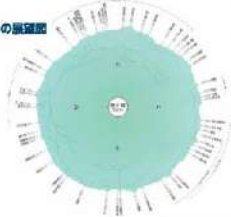
#### 山岳列島、日本

日本の山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

日本の山は、その雄大な山容と、豊かな自然環境によって、多くの登山愛好者を魅了しています。また、その山頂からは、美しい山岳風景を一望することができます。

### 山頂からの展望図

「日本百名山」1973年3月号からニューラウンで発行した「日本百名山」のワンドアウォールマガジンが、設立15周年記念に発行した「15年史」に、会の月刊誌の内で15年間に選った山の中から「日本百名山」を厳選して、当時の「山と高原」の中にあったイラストマップのコピーに印をつけて載せています。



### ワンドアウォール 日本百名山図鑑

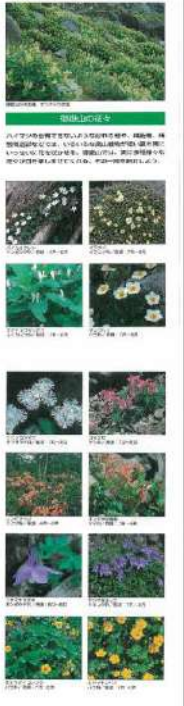
この図鑑は、日本の山岳を代表する100の山を選定し、その魅力を伝えることに貢献しました。御嶽山は、この100の山のひとつとして選定されています。

この図鑑は、日本の山岳を代表する100の山を選定し、その魅力を伝えることに貢献しました。御嶽山は、この100の山のひとつとして選定されています。

1973年発行のワンドアウォール「日本百名山図鑑」

### 徳田秋声の「山と高原地図」は、半世紀に亘って日本の山を愛する人々が大いに活用してきた登山ガイドマップです。

この地図は、日本の山岳を代表する100の山を選定し、その魅力を伝えることに貢献しました。御嶽山は、この100の山のひとつとして選定されています。



1973年発行の「山と高原地図」

### 御嶽古道

今、御嶽山山麓の長野県下高井町では「御嶽古道」のトレッキングツアーを自然に楽しむ者が多く見られます。また、「御嶽古道」の魅力を伝えるために、NPO法人「御嶽古道」が設立されました。この団体は、御嶽古道の魅力を伝えるために、さまざまな活動を行っています。

この地図は、日本の山岳を代表する100の山を選定し、その魅力を伝えることに貢献しました。御嶽山は、この100の山のひとつとして選定されています。

1973年発行の「山と高原地図」



ストーリー・マップ  
— 旅の心の地図 —

目的地「ビクトリア山」  
Mt. Victoria



世界最大の山脈であるヒマラヤ、その東部の南端に位置する最大の山脈、南端の山脈であるビクトリア山。南端の山脈であるビクトリア山。南端の山脈であるビクトリア山。

世界最大の山脈であるヒマラヤ、その東部の南端に位置する最大の山脈、南端の山脈であるビクトリア山。南端の山脈であるビクトリア山。

「世界地図帳」で  
ビクトリア山を捜してある

世界中の山脈の中でも、最も長い山脈であるヒマラヤ山脈。その東部の南端に位置する最大の山脈、南端の山脈であるビクトリア山。南端の山脈であるビクトリア山。

ワンダーフォーゲル（探り旅） 世界探検の「自然」を記録して来たのか。

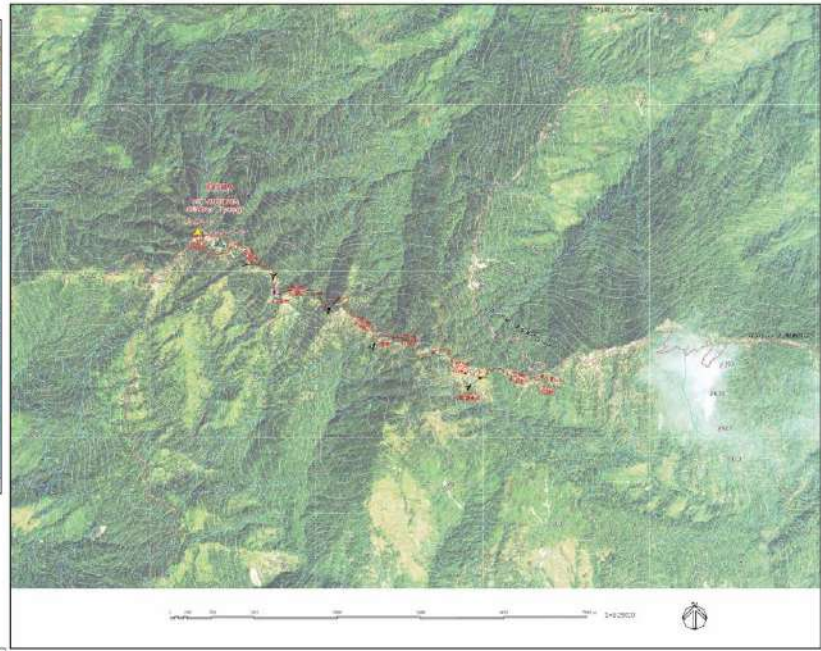


図1 ユーラシアの自然

「世界地図帳」で見つけた「ビクトリア山」 GDS390



図2 ユーラシアの自然



ナマタン国立公園位置図

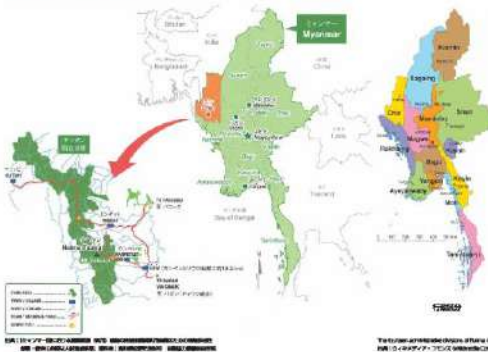


図3 The Union of Myanmar: Major Cities and Regions



山頂の生活風景  
山頂の生活風景  
山頂の生活風景

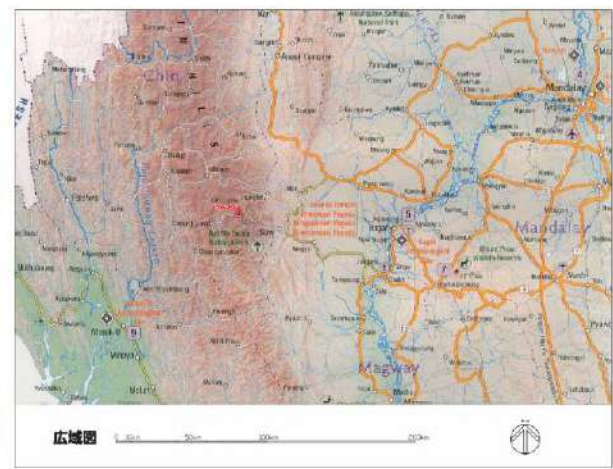


山頂の生活風景

山頂の生活風景  
山頂の生活風景

「ビクトリア山」の花々

「ビクトリア山」の花々  
「ビクトリア山」の花々





# 2017年4月21～30日 スタディツアー2017



標高3,053mの**ビクトリア山トレッキング**とチン族が育んできた**織物技術見学**を組み合わせた山と共に生きる地味づくりを学ぶスタディツアーです。

日本の山岳・高原地帯で自然環境を保全し、歴史ある地風産業を守り育てている人々との交流を深め、ビクトリア山と日本の山とつなぐ日韓双方向交流型スタディツアーの表現を目指しています。

今回は**日本発の第1回スタディツアー**です。遺跡のまちバガン西方の高原地帯に出かけてみませんか？

●開催時期: 2017年4月22日～28日  
●申込締切: 2017年3月3日  
●旅行代金: 253,800円(1人当り)

●旅行企画: 株式会社 風の旅行社  
●受託: 株式会社 ビース・イン・ツアー

●現地プログラム企画:  
・特定非営利活動法人「ふろんていあタウン工房」



ビクトリア山トレッキングと**伝統織物**に触れる

訪問国: **ミャンマー スタディツアー 7日間**

日本発の第1回ツアーは  
ストーリーマップを手にして出かける  
ビクトリア山トレッキングと  
チン族が育んできた  
織物技術見学を組み合わせた  
スタディツアーです

## ■ 旅行日程 (現地制の都合などによって変更になる場合があります。)

日付(曜日)	プログラム	宿泊地	ツアーのポイント
1日目 4/22(土)	10:35 羽田空港発(タイ国際航空)バンコクにて乗り継ぎ 18:45 ヤンゴン空港着	ヤンゴン	■ビクトリア山トレッキング ナマタン(英語名:ビクトリア山)国立公園でのトレッキングを楽しむ。
2日目 4/23(日)	早朝ヤンゴン空港発 ニャンウー空港(バガン)着 専用車でカンベレ町へ(所要約8時間) ホテル(標高1300M)	カンベレ	
3日目 4/24(月)	終日 <b>ビクトリア山トレッキングとミャンマーの織物見学</b> ホテルから専用車で登山口(標高2,700m)、山頂(3,053m)までのトレッキングの後、機織している民家や市場にて織物見学	カンベレ	■チン州織物技術 山麓の村での伝統的の織物技術・文化に触れる。
4日目 4/25(火)	専用車で遺跡のまちバガンへ(所要約8時間)	バガン	■バガン遺跡観光 世界3大仏教遺跡群バガン 無数のパゴダと寺院が点在する壮大な仏教遺跡群は圧巻です。
5日目 4/26(水)	終日 <b>バガン遺跡群観光</b> とバガン近郊の村巡り (アーナンダ寺院、シュエスィーゴオンパゴダなどを送り、シュサンドパゴダに登ってイラワジ河に沈む夕日を眺める)	バガン	
6日目 4/27(木)	A M ニャンウー空港発ヤンゴンへ P M ヤンゴン市内ミニ観光(シュエダゴンパゴダ、アウンサンマーケット他) 19:45 ヤンゴン空港発(タイ国際航空)バンコクにて乗り継ぎ	機内泊	★お一人様での参加 大歓迎です!
7日目 4/28(金)	6:55 羽田空港着 (解散)		



## 2017年5月12日 スタディツアー2017帰国報告会

ふろんていあタウン工房が企画した初の「スタディツアー2017」は、想定外の単独行になりました。旅人は藤田直人、実は22年前にもミャンマーに行っています。日程はどちらも10日間、発着空港の成田と羽田が違うだけで、どちらもバンコク経由そしてどちらもひとり旅！今回はスタディツアーから変身した個人旅行のような旅になりましたが、国内便を使わずにバスで移動するなど、藤田流のヒッチハイクスタイルが色濃く反映しています  
「帰国報告会」は、5月12日(金)日本橋のURリンケージ会議室で行いました。



1995年・バガン



2017年・ビクトリア山



1995年・エーヤワディー川



2017年・エーヤワディー川

## 「ミャンマーの時の流れを想う」

**ビルマの時代に過ごした中学生生活  
農村の暮らしを豊かにするために！  
次世代につなぎたいこと**



ビルマの時代の1980年代前半、お父さまの大使館勤務で家族でビルマに行き、ラングーン日本人学校で中学生生活を過ごした岡本さん、この3年間で原体験になって発展途上国の開発経済学を目指し、1998年～2000年はアジア経済研究所の海外派遣員としてミャンマーでの2度目の滞在。

現在は東洋大学国際地域学部でミャンマーの農村の暮らしに如何に豊かさをもたらすか、毎年学生を連れて農村調査に訪れます。

思いどおりにならないから面白い、失敗を恐れずに果敢に挑戦をと次世代の学生たちに伝えています。

岡本郁子さん





## ビルマでの中学生生活を過ごしたラングーン日本人学校



学生たちで編集した  
「2016年度 ミャンマー研修報告書」



## 2017年9月27日 第8回 「ふろたんインタビュー」

### 〈びるまの豎琴〉で「ビルマの豎琴」

ミャンマー料理店〈びるまの豎琴〉  
「ビルマの豎琴」と昭和の記憶  
それぞれの未来に向かって

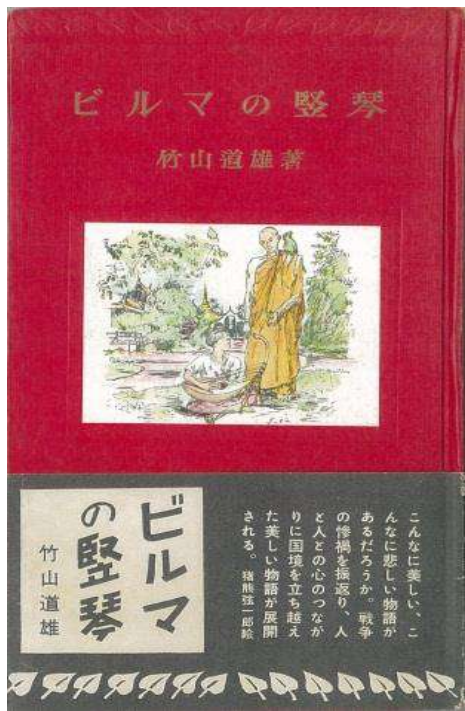
恵比寿のミャンマー料理店「びるまの豎琴」の名前はどのようにして決めた？店主ココさんが「ビルマの豎琴」を知ったのは、本？それとも映画？店のテーブルの上に発行年が異なる数冊の「ビルマの豎琴」の本を並べてのインタビュー。

太平洋戦争末期のビルマ戦線でのインパール作戦、お父上が白骨街道から帰還した兵士の一人だった林さん、生死を共にした人たちが遺していった資料・幻の出版本の話など伺いながら、歴史を遡った昭和の記憶を色々と話し合いました。



ココさん・林茂雄さん





# 1956年の映画ポスター



1985年の映画「ビルマの竖琴」



タビニュー寺院の日本兵慰霊碑



# 2017年11月28日付ふろタン通信NO.23

ミンガラバーユネスコクラブの「スタディツアー2018」の案内を掲載 ※24号で報告会・25号は旅日記



「会員拡大活動」から「協力・連携ネットワークづくり」へ という見出しで、「目的を共有できる NPO 等団体との協力・連携のネットワークづくり」を毎年度の重点目標とすると呼びかけたのが、2014年12月発行の「ふろタン通信」NO.6、あれからもう3年が経ちました。

今まで築いてきた協力・連携ネットワークをさらに深め、多くの団体との連携による企画・活動を徐々に増やしていこうと考えています。

2018年のふろタン工房 は次のステップを目指して進みます。

### 1. ミンガラバー・ユネスコクラブから二つの案内

#### その1. 「スタディツアー2018」

- 2/09 全日空・成田発 11:00→ヤンゴン着 18:30
- 2/10 ヤンゴン→レゲー→バゴー市内観光
- 2/11 バゴーで寺子屋訪問
- 2/12 バゴー→チャイティヨーでゴールデンロック観光
- 2/13 チャイティヨー→ヤンゴン郊外観光  
(適合軍基地・KALAYWA 僧院)
- 2/14 ヤンゴン市内観光 全日空・ヤンゴン発 22:10
- 2/15 成田着 6:45



ゴールデンロック

このスタディツアーのメインは、バゴー・チャイティヨー・ヤンゴンです。今回はバガンには訪れないのでピクトリア山まで足を延ばす訳にはいきませんが、ふろタン工房のツアーとは雰囲気は少し違ったユネスコツアーの貴重が体験できるかもしれません。企画旅行社とはいつも同じペースインツアーです。興味を持たれた方はご連絡ください。詳しい資料をお渡しします。

※「ふろタンスタディツアー2017」(4/21~30)の参加メンバー藤田が写してきたゴールデンロックの写真を載せました

## 2018 「ミャンマー・スタディツアー」報告書

2015年のふろタン工房第3次隊の時の帰国レポートは、「OYAJI3 匹ナマタンを目ざす」という旅日記で報告しましたが、ミンガラバー・ユネスコクラブのスタディツアーは女性3人隊の旅日記、詳細な活動報告が載っています。





2018年2月9日 第9回 「ふろタンインタビュー」

## 「年中行事と室礼」 + 「江戸東京学」のまちづくり

幻の「ニュータウン物語」と草創期のニュータウン  
旧暦で学ぶ日本人のこころと暮らし  
土地に根付く伝統行事とエコ空間まちづくり



2014年に高円寺の「ほれやあれ」で  
スタートした「ふろタンインタビュー」、同  
じ会場での2018年最初のインタビュー  
は、法政大学で長くエコデザイン研究  
に取り組んでこられた高橋賢一さんと、  
奥様で室礼研究家の久子さん、お二  
人そろってのインタビューです。

日本住宅公団時代の思い出話から  
自然と共生し感謝する日本の伝統行  
事、歴史的な環境インフラのことなど  
興味深いお話を伺いました。

高橋賢一さん・久子さんご夫妻



都市づくりパブリックデザインセンター  
 機関誌「都市+デザイン」 vol.9  
 1994年9月発行  
 水辺都市づくり を発信



出席者  
 木村直人  
 高橋久子  
 東矢尚子  
 平井健三  
 町田次男  
 右松國彦  
 三田村喜巳男  
 浅谷陽治  
 司会

2018年度 旧暦で楽しむ年中行事と室礼  
 一行事のこころを形にして日本人のこころを見る

第1回 2018年4月10日(火) 申込締切 4月3日  
 上巳の節供 旧暦三月三日 2018年4月18日



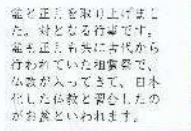
流し雛の室礼と紙雛作り  
 紅白の巻帯で紙雛を作り、アクリル紙にのっぺらまます。お祭りの元の家である流し雛を美しく整えます。

第2回 6月12日(火) 申込締切 6月5日  
 端午の節供 旧暦五月五日 2018年6月16日



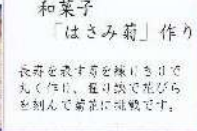
和紙で作る江戸の鯉のぼり  
 端午は厄除けの日です。武士の時代に男の子の成長に、江戸商人が台頭して武士に負けて高く鯉のぼりを掲げました。

第3回 8月21日(火) 申込締切 8月14日  
 お盆 旧暦七月十五日 2018年8月26日



お盆の室礼 祖霊への供え物  
 電と正月を取り上げました。対となる行事です。電も正月も共に古代から行われていた祖霊祭で、仏教が入ってきて、日本化した仏教と融合したのがお盆といわれます。

第4回 10月9日(火) 申込締切 10月2日  
 重陽の節供 旧暦九月九日 2018年10月17日



和菓子「はさみ菊」作り  
 衣帯を染めずを練りきりで丸く作り、豆汁で染びらを刺して菊葉に模倣です。

第5回 12月18日(火) 申込締切 12月11日  
 七五三 旧暦十一月十五日 2018年12月21日



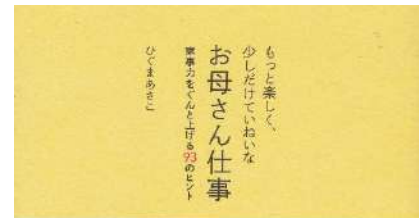
七五三の室礼  
 結婚祭りの一つである人妻の送迎儀の七五三を祝します。十歳・十五歳・三歳、数字に込められた深い意味があります。

第6回 2019年1月29日(火) 申込締切 1月22日  
 お正月 旧暦一月一日 2019年2月5日



お正月の室礼  
 「初夢」の室礼(一富士二鷹三茄子)袋と封を成す数も大切といわれるお正月。初めて見る夢に頼るを比喩します。

(株)都市開発技術サービス  
 「創立20周年記念誌」座談会  
 1997年4月発行



『お母さん仕事』 ひぐまあさこ著



# 2018年5月14日付ふろタン通信NO.25

## ふろタンインタビュー第3回に登場いただいた大成栄子さんと、第4回の藤川和美さんがそれぞれ取り組まれている二つのイベントについて紹介しています

「西村公朝 芸術家の素顔」2018年4月21～6月3日

2015年8月の第3回インタビューで、ご夫妻で「天空の山と祈りの造形」と題してお話いただいた大成栄子さん、その年はお父上の西村公朝生誕100年の年でしたが、大切にされていた公朝作品を吹田市立博物館に寄贈された今年2018年は、収蔵記念特別展が開催されました。

千里ニュータウンの一角にある博物館でのオープニングイベントでは、弟の愛宕念仏寺住職西村公栄さんのシンセサイザー演奏の後、栄子さんが「祈りの造形の原点を歩くー中国従軍編」という題で講演されました。



「ミャンマー大紀行」2017年12月9日～2018年5月6日

2015年12月第4回インタビューは、アースウォッチ・ジャパンの安田重雄さんとご一緒に「植物図鑑で森守れ」というお話を伺いました。

半年間にわたって牧野植物園企画展「ミャンマー大紀行・碧き回廊をゆく」が行われ、展示室の企画から現地見学ツアーのガイドまで藤川さんが中心になって活躍されました。



2014年3月のふろタン工房第2次隊(赤川隊長)がカンペレで会った、ウ・シェイン元ナマタン国立公園事務所長も4月30日の講演会に出席されています。



# 2018年7月12日付ふろタン通信N0.26

いつも参加している二つの行事、「ミャンマー祭り」と「御嶽山登山道整備活動」が、今年6月30日と7月1・2日 三日間連続で行われました

NPO法人 ふろんていあタウン工房

## ふろタン通信



2018年7月12日 広報センター

No. 26

1. 6月22日付「ふろタン通信」外でご案内した二つの行事の報告です。

### ① 6月30日(土)・7月1日(日) ミャンマー祭り2018

今回は11月の恒例行事だった「ミャンマー祭り」が、今年は梅雨明け後の炎天下の2日間で開催されました。いつも通りの賑わいでしたが、「ミャンマーより暑い日！」と話し合っているミャンマーの人。今年も飲食コーナーに出店したピース・イン・ツアーとミンガラパー・ユネスコクラブの協働テントでは、安彦さん他スタッフ総動員で皆さん頑張っていました。風が通らないテントでの作業は大変な様子でした。



「この時期では屋外での食材の管理は無理」と常連だったココさんのミャンマー料理店「ひるまの整琴」が今年の出店をあきらめたのは賢明だったのかもしれませんが、

増上寺正門に入って直ぐ場所は、ご神木の木陰にも恵まれて涼さを求めて多くの人が集まり、毎年同じ場所にある和田直子さんのミャンマー雑貨の店「daccoo」は、いつものように多くの女性客で賑わっていました。

「やっぱりミャンマー祭りは11月の方がイイね」という声が続いてきました。



### ② 7月2日(月)「御嶽山登山道整備活動」

2014年9月27日の御嶽山噴火から4年を迎えようとしています。毎年7月2日行われてきた木曾ユネスコ協会と木曾御影奉仕会共催の登山道整備活動には、ふろタン工房も2015年から今年で4年連続の参加になります。昨年の参加メンバーの感想は「若者の参加がなくて年寄りにはシンドかった！」でした。



左は昨年の集合写真、右の写真は今年で、20名の林業大学校生が参加しています。「ヤバー」「シンド」と言いながら元気に登山道整備に取り組み若者たちと一緒に、年寄りも遅れないようにとついていきました。日野製菓の井原社長は前日の陣山式からの連日の参加、夏山シーズンを迎えお忙しい毎日が続きます。剣ヶ峰頂上への懸崖開削も準備中とのこと、山頂までの入山再開ももうすぐなのかもしれません。

### 2. その他:二つのお知らせ

#### ① ホームページに「ふろタン情報コーナー」が出来ました。

今年のふろタン総会后ホームページを少しモデルチェンジしました。新しくできた「ふろタン技研コーナー」を開くと「研究レポート発表コーナーです」と書かれていて、レポートの掲載はまだまだこれからですが、「二都府県研究会 30 回誌録誌」が早く竹りに載っています。

「二都府県研究会」は「ふろタン工房」に先行してスタートした研究会で「フロンティアまちづくり読本」でもプロローグ・エピローグで詳しく紹介しています。今まではそれぞれに活動してきましたがこれからは色々と交流を図って行きたいと思えます。

※①2011.3 ミャンマー連邦国政移管 ②2012.3 建設省視察団来日 ③2012.9 二都府県スタート ④2013.3 URワングルピクトリア山登山 ⑤2014.6 ふろタン工房スタート

#### ② 国内前門ガイドが地えて ます。

赤川副理事長が本地地を熱海に移してから、「熱海まち歩きガイドの会」に所属して活躍されているのは知れ渡っていますが、今度は事務局次長の高田さん、日本山岳ガイド協会の認定登山ガイドとして飯能で活動を始めました。まち歩きと山歩き！どちらでもご相談ください。



## まちナビ倶楽部の「居心地観察会」

「Nの会」から「まちナビ倶楽部」へ  
「居心地観察会」のベストポイント



小澤さん・桂さん

「まちナビ倶楽部」は平成17年6月の設立、既に13年の活動実績を持つNPO団体で、「ふろんていあタウン工房」を設立する時から、先輩格法人として色々とアドバイスを頂いたり、交流を図ってきました。

「まちナビ倶楽部」の年末最後の定例会が飯田橋の東京都ボランティアセンターで行われ、開場準備中の会議室の片隅をお借りして昼弁当を食べながら、慌ただしい師走の突撃インタビューです。

「まちナビ倶楽部」理事長小澤一美さんとまち歩き活動「居心地観察会」仕掛人の桂久誼さん、前身の「Nの会」の話まで遡りながら「居心地観察会」のあゆみを伺いました。

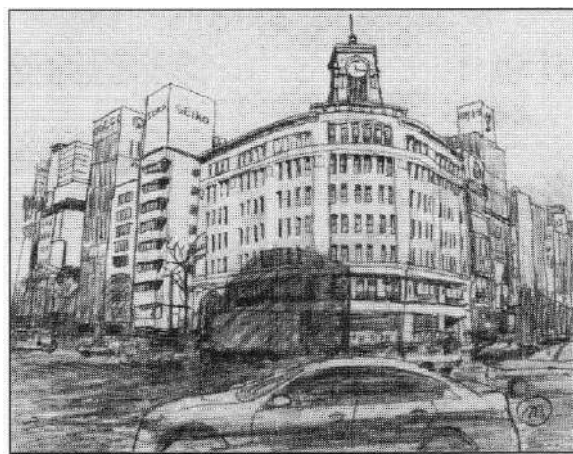
『居心地観察会ベスト5発表！』 トップ;防府・山口・萩・下関



京島



砂町銀座



京橋・銀座



板橋宿・大山ハッピーロード



# 2019年5月10日付ふろたん通信N0.30

今年のゴールデンウィークは令和スタートの10連休で5月4日はみどりの日、通信30号は森づくりと都市の緑空間づくりセミナーの報告です。

NPO 法人 ふろんていあタウン工房

## ふろたん通信

2019年5月10日

広報センター

No. 30



◆4月10日 グループ団体賛助会員 第1号プロジェクトチーム がスタートしました

主催：ふろんていあタウン工房 後援：まちナビ倶楽部

### 「スケッチ散歩普及会」スタート記念ミニセミナー

セミナーの講師は「スケッチ散歩普及会」チームリーダーの竹川清和さん。UR 都市機構の前身の日本住宅公団の時代から造園コンサルタントとして都市の緑空間づくりを数多く手がけてきた造園家です。

セミナーの前半は竹川さんの森づくり論、造園専門誌『ランドスケープデザイン』は2016年に「自然から学ぶ竹川清和さんの森づくり」というタイトルで特集を組んで次のように紹介しています。一般的にはまっすぐな姿の良い樹をたくさん植えることが美しい森をつくると考えるが竹川さんは「悪い樹も良い樹もすべてを含め一つの環境をつくっているのが森」と考えている。竹川さんの森づくりはタネ採りから始まる。それは森がどのようにしてできるのかを自然から学ぶためである。そして自然の豊かさを決める土壌動物から昆虫、里山のけものたちの姿まで巧みなスケッチで次々と描いていくのです。

後半は「飯能の自然の回廊」づくり提案時のイメージルートマップにまちの骨格空間スケッチを描いた話に移って、ここからは「まちナビ倶楽部」の会津光農さんも加わり居心地観察会というまち歩き調査で描いたスケッチ事例を紹介してもらいました。会津さんは奥さまの千幸さんもスケッチ愛好家で、季節の花たちという植物画集の絵葉書セットを、今回のセミナーの出席者全員にプレゼントしていただきました。感謝！

会場は高円寺の「ほれやあれ」、桜の季節なのに桜吹雪どころか冷たい雨が窓をたたく嵐の夜の、テーブルを囲んでの和やかなミニセミナーになりました。

#### 竹川清和さんの森づくり論



会津夫妻のスケッチ



「スケッチ散歩普及会」に関心を持たれた方はこちらへ [takekawa@kb4.so-net.ne.jp](mailto:takekawa@kb4.so-net.ne.jp)

◆2019年度総会 4月16日にURリノベーション会議室で開催

- 議題1. 平成30年度活動報告・会計報告
2. 平成31年度事業計画・活動予算(案)
- ①自然環境整備事業に取り組む団体とのネットワーク形成の推進
  - ②技術研究所の活動と連携した JICA 関連ツアーを検討して実施
  - ③グループ団体賛助会員プロジェクトチームの地域づくり活動推進
3. 役員人選
- (継続) 事務局長・技術研究所長・渉外担当役・監事
  - (再任) 理事長・副理事長・プロジェクト推進室長・広報センター長
  - (退任) 高田睦夫事務局長次長→新年度は事務局次長を置かず、西原歩新賛助会員が事務局員として会計業務を担当します。

目的を共有する団体との協力・連携ネットワークをさらに強化し、「令和」の時代も活動を続けてまいります。皆様のご支援よろしくお願いたします。

◆「マンマー祭り2019」2013年にスタートした「マンマー祭り」、今迄も飲食コーナーの「びるまの壺琴」で食事をしたり、「ミンガラバー・ユネスコクラブ」と「ピース・イン・ツアー」の協働テントに立ち寄りたり、「daccoo.」のテントでは突撃インタビューを行ったりしながらマンマー文化に触れてきました。

5月25・26日 春の芝増上寺に出かけ「マンマー祭り」を楽しみましょう！

# 2019年7月26日付ふろたん通信NO.31

## 5月の「ミャンマー祭り2019」では、世界平和祈念法要に参加 そして7月6日、バガン遺跡が愈々「ユネスコ世界遺産」になりました！



### ◆5月25-26日 ミャンマー祭り2019

今年はおオープニングイベントとして本堂で開催された大本山増上寺ご法主の「世界平和祈念法要」にも出席しました。

法要終了後大殿の前で記念写真を撮り、光厳殿ステージでの開会式を終えてテントが立ち並ぶ祭りの広場へ。2013年11月から毎年参加してきたミャンマー祭り、今年は猛暑日だった昨年を上回る酷暑の二日間でしたが、暑さにもめげず会場は大変な賑わいでした。市場工場のミャンマー料理の「びるまの整等」とミャンマー珈琲の店「ぼれやあれ」はお休みでしたが、横丁工場の入口のいつもの場所での和田直子さんのミャンマーの手作り雑貨の店「dacco,myanmar」のテントは例年どおりの賑わいで大殿に向かう参道入り口を盛り上げ、大階段近くの「今泉記念ビルマ奨学会」のテントでは「ミンガラパーユネスコクラブ」のメンバーでもあるティティレイさんが次々と訪れる人たちの応対で忙しく活躍されていました。



### ◆7月2日 御嶽山登山道整備活動

毎年7月2日に、木曾ユネスコ協会と木曾御嶽山事社会共催で行っている登山道整備活動、ふろたん工房も2015年から毎年参加してきましたが、今年は残念ながらメンバーの都合がつかずその旨を日野製菓の井原正登さんにお伝えしましたが、活動から得られてから、剣ヶ峰頂上の御嶽神社は工事中で写真禁止だったこと、8月1日の「遷座祭」の時には完成した御嶽神社を見ることができるとなどのご連絡をいただきました。（写真は頂上に登る石段の横に設置された慰霊碑）噴火から5年、規制が解除され登山者もほかに戻ってきた御嶽山、久しぶりに剣ヶ峰頂上まで登ってみましょう。



### ◆7月6日 バガン遺跡がユネスコ世界文化遺産に！

2013年のワングル40周年記念登山に始まり、2014・15の調査登山、そして「スタディツアー2017」と通算4回登ったピクトリア山、登山日の翌日はバガン観光です。絶景スポットのシュエザンドパヤーに登ってイラワジ川に沈む夕日を眺めるのがピクトリア山ツアーの定番になっていました。カンボジアのアンコールワット、インドネシアのボルブドールと並ぶ世界三大仏教遺跡、ユネスコの文化遺産登録をずっと目指してきたけど叶わないとガイドさんが嘆いていた「バガン遺跡」の世界文化遺産がやっと実現しました！一緒に文化遺産になったのが日本の「百舌鳥古市古墳」、天皇陵を囲む多くの前方後円墳が広範囲に拡がっている日本の古墳群と、バガン王朝からのバゴダ(仏塔)が立ち並びバガン遺跡群、遠く離れていてもイメージが重なり合って身近に感じられる二つの文化遺産です。



### ◆ふろたん工房設立5周年記念セミナー

8月開催予定で準備中です。会場は日本橋のUR リンケージ、決まり次第チラシを配布してお知らせしますので是非ご参加ください！



2020年1月17日 第11回「ふろタンインタビュー」

## ミャンマーとの絆「今泉記念ビルマ奨学会」

語り継がれてきたインパール作戦

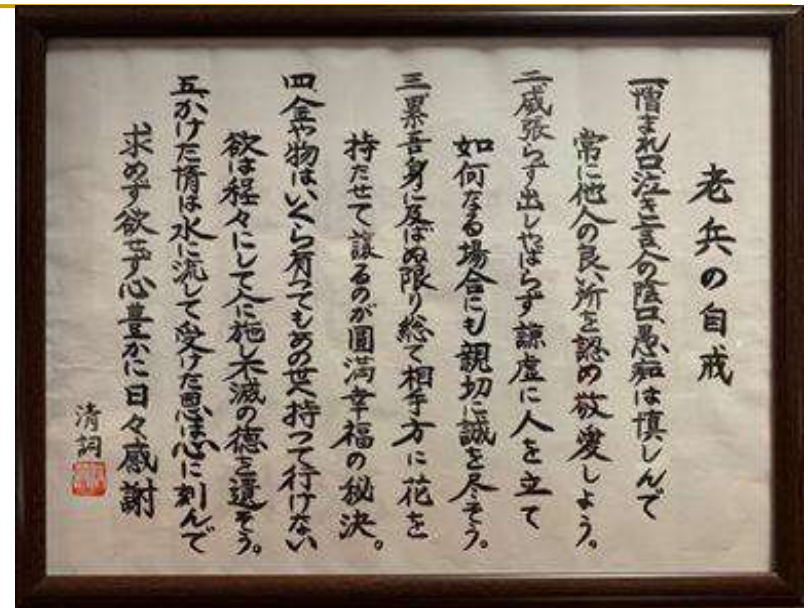
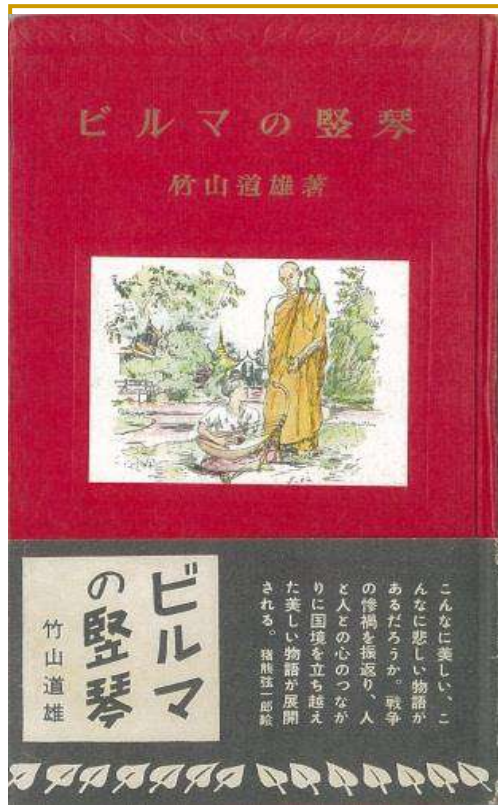
「今泉記念ビルマ奨学会」の活動・未来を見つめて！



今泉さん・ティティレイさん

2020年のふろタン新春インタビューは、第二次世界大戦のインパール作戦に従軍し、その時の体験から1989年に今泉記念ビルマ奨学会を立ち上げた今泉清詞さんと、その奨学金で日本で勉学し今は奨学会の理事長を務める城西大学理学部客員教授で国際教育センター副所長のティティレイさん、埼玉県鶴ヶ島市の今泉会長のお宅に伺ってお二人からミャンマーとの絆のお話を色々と伺いました。

鶴ヶ島市は東京五輪・パラリンピックのホストタウンになりました。平和の祭典が架け橋になって両国の仲が一層深まること願ってお二人は活躍されています。



ミャンマーとの絆を感じる今泉家の応接間



## ふろタン通信36号・37号も自粛生活が続く中での発信になりました。

### 2020年7月27日付 ふろタン通信第36号

毎年4月か5月には開催していたふろタン工房総会が新型コロナウイルス影響で延び延びになって7月9日にやっと開催になり、あと半年しか残されていない異例の令和2年度がスタートですと書いています。

URワングル同好会の月例山行は4月からすべて中止、ミンガラバー・ユネスコクラブと交代で行うことにしていたミャンマーのスタディツアーは新型コロナで入国出来ずに中止、これからのことについて改めて関係者と相談するとして 総会の報告を掲載、その後高円寺の「ぼれやあれ」で行った「ミンガラバー・ユネスコクラブ」と恵比寿の「びるまの豎琴」との情報交換の内容を掲載しました。



高円寺「ぼれやあれ」

### 2021年1月18日付 ふろタン通信第37号

**2021年の新春号です**という見出しで発信した通信37号の頭書きは次のように書いています。2019年にはNO.28からNO.33まで6号発刊した「ふろタン通信」ですが、NO.35以降すべての行事が止まったままで、遅れて開催した令和2年度総会の報告を載せた7月のNO.36を最後に1年間で僅か3号の発刊で終わっていましたが今年には正月7日に1都3県緊急事態宣言が出て、さらに厳しい自粛ムードが当分続きそうですが、活動を再開できる日を目指して「ふろタン通信」は皆さんから寄せられた情報の発信を続けていきます。そして2021年からふろんていあタウン工房の新本部が、恵比寿の「びるまの豎琴」になることを伝えています。



恵比寿「びるまの豎琴」